

春の星空

【児童センター春の星空4月号】

4月の星空は、北の空高くかったあのひしゃくの形をした北斗七星が春の星座の中心となります。夜の8時頃、天頂の北斗七星「ひしゃく」の柄の部分に南東へ曲線を延長するとオレンジ色の星（うしかい座の1等星アルクトウルス）、さらに南へ延ばすと青白い色をしたおとめ座の1等星スピカに当たります。

おとめ座は農業の女神と言われ、スピカは稲穂の部分に輝く星となります。

空が暗くなる頃の西空には、“おうし座”がありこの季節の1番星“木星”が明るく輝きます。この明るい星から、おうし座やオリオン座を見つけるのも楽しいですね。

<4月の星空カレンダー>

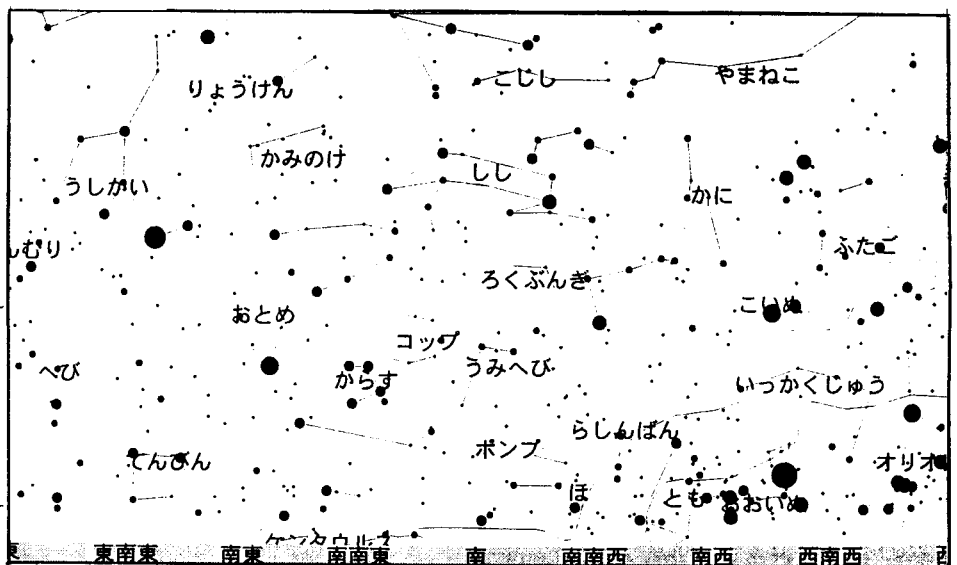
1日(日) ● 上弦

8日(日) ○ 満月

16日(月) ● 下弦

24日(火) ● 新月

右の星図は、4月中旬
夜9時ごろ、南の方向を
中心に見た星空です。



☆☆☆☆☆☆

《天文現象》

☆夜がふけて東に姿を見せる赤い星は火星です。しだいに、地球に近づいています。

☆夕方の西天に輝く1番星、木星はおうし座の中にありますが、4月25日、26日に細い月と並ぶ様子が楽しめます。この日は西の低空が見える場所に出かけ、夕焼け空の中で、星月夜を観望してみましょう。

☆プラネタリウム番組『しまじろうの星空大冒険』が現在、プラネタリウム投影中です。

”しまじろう”が夢で見た、ドーナッツの星の正体は、さて何だったのでしょうか？

